

お客さまの資産形成および資産運用サポート に関する取組み状況

< 2023年3月末時点 >



Hiroshima
Shinkin Bank

街のフレンドリーバンク

広島信用金庫

1. お客様の多様なニーズにお応えする商品およびサービスの提供

(1) 投資信託・生命保険取扱商品

2023年3月末時点の当金庫における投資信託や生命保険の取扱商品数は、下記の通りです。

なお、当金庫の関連会社から提供を受けている取扱商品はありません。

商品選定にあたっては、商品特性、販売動向、運用実績、ファンド情報会社のレーティングなどを参考としています。

今後もお客さまのご意向や目的に応じて適切な商品をご選択いただけるよう、取扱商品の充実を図ってまいります。

投資信託投資対象別取扱商品数

商品分類	購入可能な投資信託商品(店頭・インターネット・投信積立含む)					
	店頭で購入可能な投資信託商品				つみたてNISA専用商品	
	商品数	割合	商品数	割合	商品数	割合
国内株式	11	12.64%	5	9.62%	2	28.57%
国内外株式	7	8.05%	7	13.46%	1	14.29%
海外株式	13	14.94%	9	17.31%	3	42.86%
国内外債券	6	6.90%	4	7.69%	0	0.00%
海外債券	27	31.03%	12	23.08%	0	0.00%
国内不動産	2	2.30%	2	3.85%	0	0.00%
国内外不動産	5	5.75%	4	7.69%	0	0.00%
バランス	16	18.39%	9	17.31%	1	14.29%
合計	87	100.00%	52	100.00%	7	100.00%

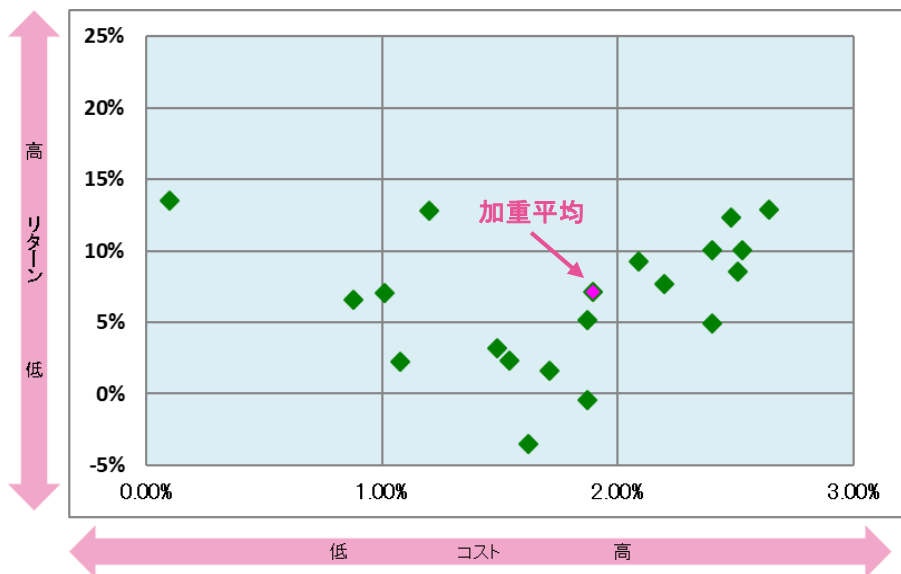
生命保険種類別取扱商品数

商品分類		店頭で購入可能な生命保険商品			
		商品数		割合	
				外貨建生命保険商品	
		商品数	割合	商品数	割合
一時払型	個人年金保険	5	13.16%	5	35.71%
	終身保険	9	23.68%	7	50.00%
平準払型	個人年金保険	3	7.89%	2	14.29%
	終身保険	3	7.89%	0	0.00%
	養老保険	2	5.26%	0	0.00%
	定期保険	5	13.16%	0	0.00%
	医療・がん・保険	7	18.42%	0	0.00%
	介護・その他保険	4	10.53%	0	0.00%
合計	合計	38	100.00%	14	100.00%

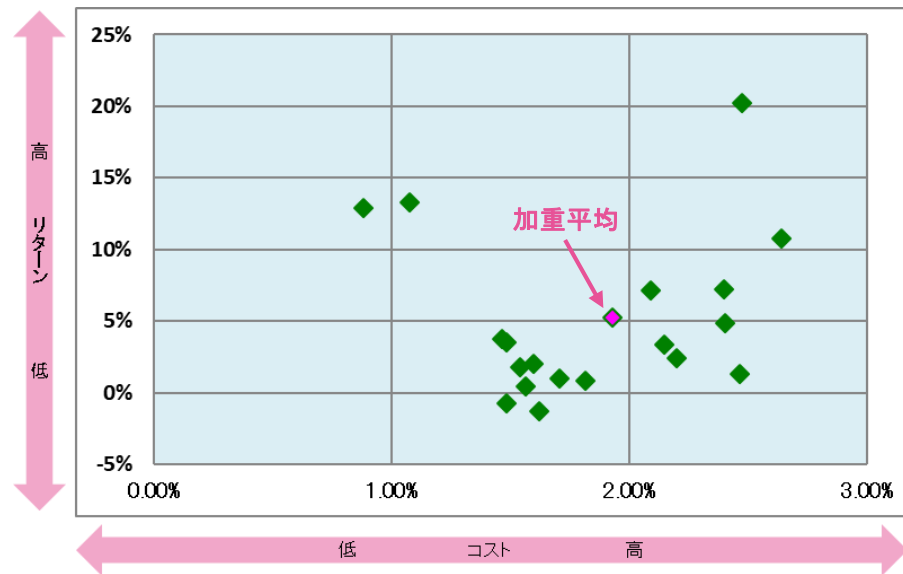
(2) 投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン(共通KPI)

設定後60ヵ月以上の投資信託預り資産残高上位20銘柄のコストとリターンの関係を示した指標は、下記の通りです。
2023年3月末時点における平均コストは1.90%（前年比-0.02%）、平均リターンは7.10%（前年比-1.28%）となりました。

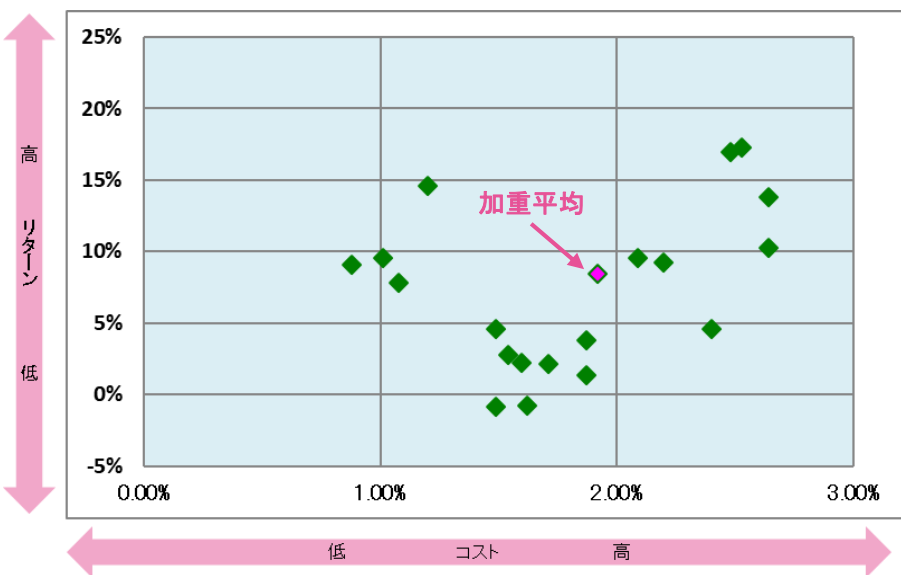
コスト・リターン分布図(2023年3月末時点)



コスト・リターン分布図(2021年3月末時点)



コスト・リターン分布図(2022年3月末時点)



コスト・リターン(加重平均値)の推移

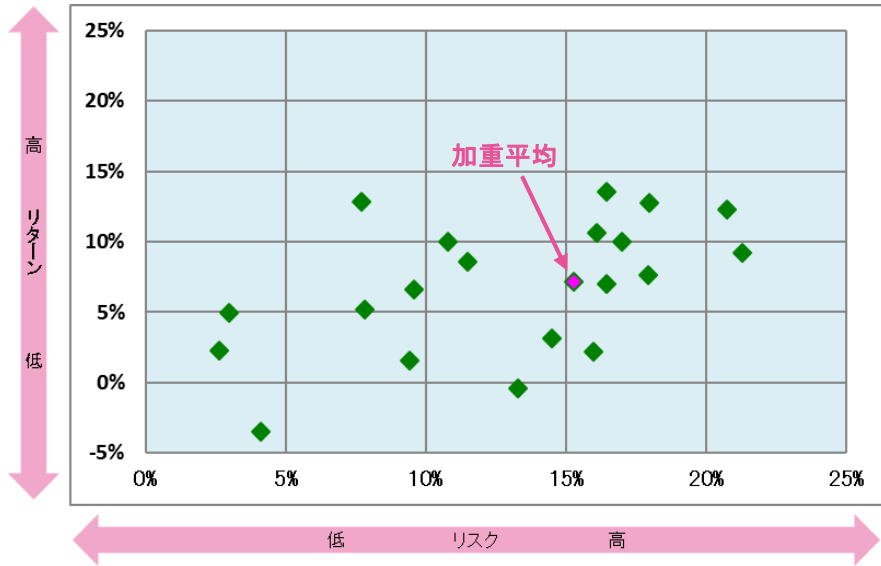
	コスト	リターン
2023年3月末	1.90%	7.10%
2022年3月末	1.92%	8.38%
2021年3月末	1.93%	5.18%

※2021年3月末、2022年3月末、2023年3月末の各時点で運用期間60ヵ月以上の預り資産残高上位20銘柄を対象として算出
 ※対象銘柄はDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除き、単位型を含む
 ※リターン・リスクは年率換算、コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値
 ※上記数値等はあくまでも過去の実績であり、将来のコスト・リターン・リスクをお約束するものではありません

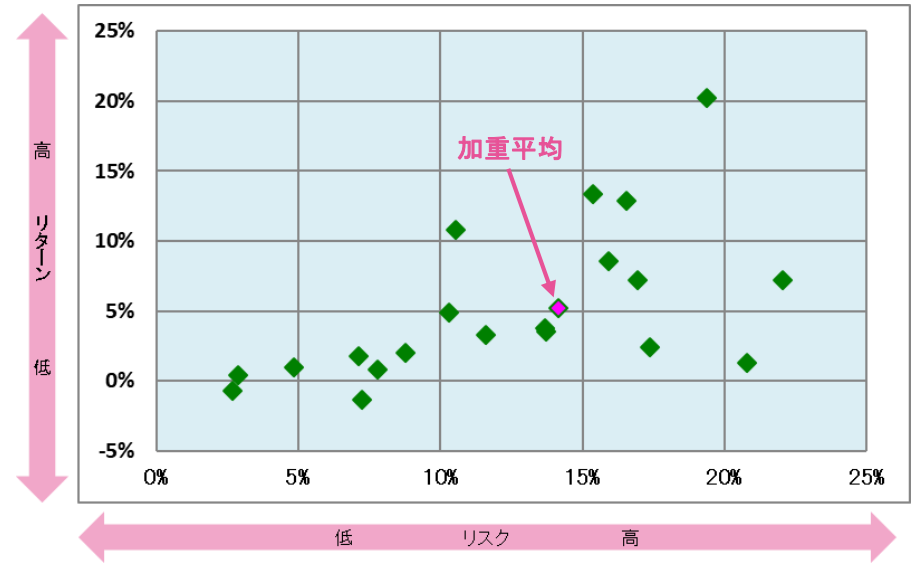
(3) 投資信託預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン(共通KPI)

設定後60ヵ月以上の投資信託預り資産残高上位20銘柄のリスクとリターンの関係を示した指標は、下記の通りです。
2023年3月末時点における平均リスクは16.81%（前年比+1.53%）、平均リターンは7.10%（前年比-1.28%）となりました。

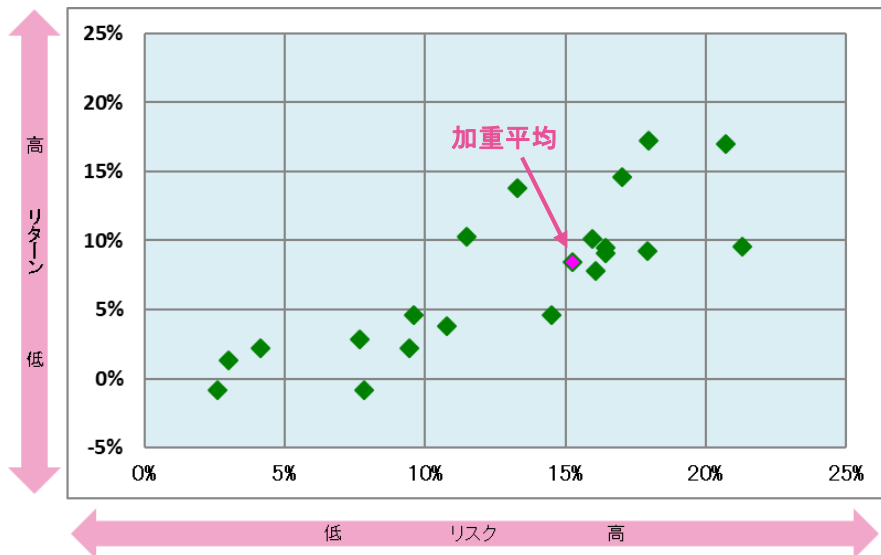
リスク・リターン分布図(2023年3月末時点)



リスク・リターン分布図(2021年3月末時点)



リスク・リターン分布図(2022年3月末時点)



リスク・リターン(加重平均値)の推移

	リスク	リターン
2023年3月末	16.81%	7.10%
2022年3月末	15.28%	8.38%
2021年3月末	14.16%	5.18%

※2021年3月末、2022年3月末、2023年3月末の各時点で運用期間60ヵ月以上の預り資産残高上位20銘柄を対象として算出

※対象銘柄はDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除き、単位型を含む

※リターン・リスクは年率換算、コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値

※上記数値等はあくまでも過去の実績であり、将来のコスト・リターン・リスクをお約束するものではありません

(4) 投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン・リスク

2023年3月末時点の当金庫における設定後60ヵ月以上の投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン・リスクは、下記の通りです。

投資信託残高上位20銘柄(2023年3月末時点)

(残高単位: 百万円)

順位	ファンド名	残高	コスト	リターン	リスク
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	6,421	1.49%	3.17%	14.60%
2	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	5,002	2.20%	7.65%	19.16%
3	ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー	4,945	2.48%	12.30%	22.52%
4	ひふみプラス	1,286	1.08%	2.23%	15.97%
5	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	1,120	3.08%	10.59%	16.30%
6	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	1,007	2.53%	10.03%	20.40%
7	インデックスファンド225	918	1.01%	7.03%	17.06%
8	シュローダー・インカムアセット・アロケーション(毎月決算型)Aコース(為替ヘッジなし)	813	1.87%	5.18%	11.06%
9	たわらノーロード先進国株式	812	0.10%	13.54%	17.99%
10	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	696	1.20%	12.77%	18.19%
11	モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	694	2.64%	12.85%	13.59%
12	トレンド・アロケーション・オープン	686	1.62%	-3.52%	7.76%
13	しんきんインデックスファンド225	683	0.88%	6.61%	17.04%
14	パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド	635	2.40%	10.02%	16.86%
15	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	622	2.40%	4.92%	9.93%
16	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	580	1.54%	2.31%	7.81%
17	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	575	1.71%	1.60%	4.75%
18	投資のソムリエ	540	1.87%	-0.44%	3.72%
19	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	536	2.09%	9.24%	22.56%
20	ダイワ・インド株ファンド	499	2.51%	8.58%	23.79%
加重平均			1.90%	7.10%	16.81%

※2023年3月末の時点で運用期間60ヵ月以上の預り資産残高上位20銘柄を対象として算出

※対象銘柄はDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除き、単位型を含む

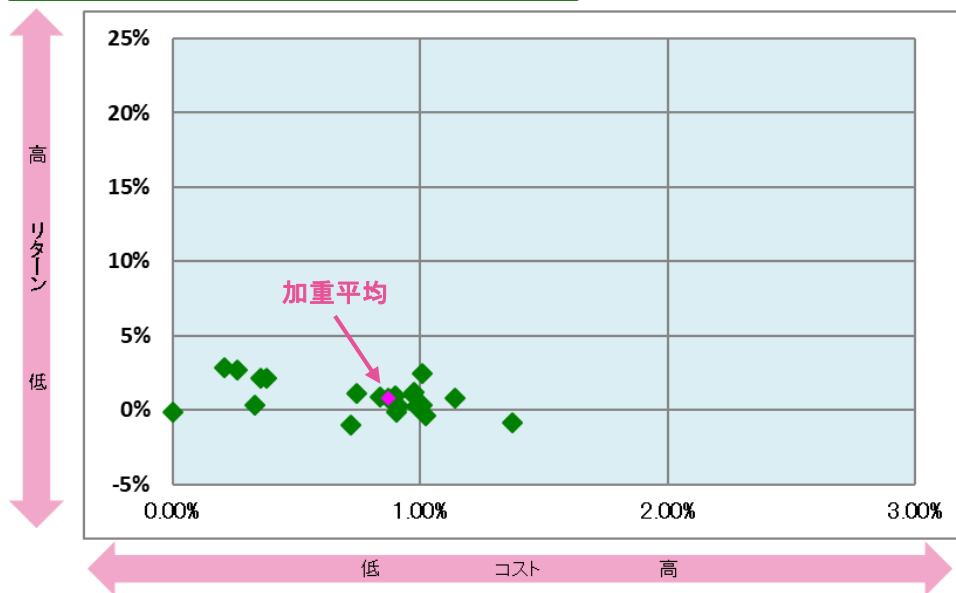
※リターン・リスクは年率換算、コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値

※上記数値等はあくまでも過去の実績であり、将来のコスト・リターン・リスクをお約束するものではありません

(5) 外貨建一時払保険預り資産残高保有銘柄(契約開始後60ヵ月以上)のコスト・リターン(共通KPI)

保険契約開始から60ヵ月以上が経過した外貨建一時払保険の預り資産残高とコストとリターンの関係を示した指標は、下記の通りです。2023年3月末時点における平均コストは0.87% (前年比-0.03%)、平均リターンは0.77% (前年比-0.38%) となりました。外貨建一時払保険のリスクについては、商品の特性上算出しておりません。

コスト・リターン分布図(2023年3月末時点)



コスト・リターン(加重平均値)

	コスト	リターン
2023年3月末	0.87%	0.77%

外貨建一時払保険残高(2023年3月末時点)

順位	ファンド名	残高	コスト	リターン
1	しあわせ、ずっと	3,035	0.90%	0.93%
2	プレミアレシーブ(外貨建)	2,530	0.84%	0.91%
3	プレミアジャンプ	1,165	0.90%	-0.13%
4	えがお、ひろがる	631	1.02%	-0.35%
5	ふるはーとJロードグローバル	513	1.01%	2.48%
6	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	488	1.37%	-0.83%
7	しあわせ、ずっとNZ	425	1.01%	0.31%
8	プレミアカレンシー・プラス2	404	0.97%	1.17%
9	モンターニュ	356	0.26%	2.71%
10	やさしさ、つなぐ	344	0.72%	-1.02%
11	ロングドリームGOLD	212	0.97%	1.07%
12	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	189	0.99%	0.27%
13	ロングドリームプラス	119	0.00%	-0.13%
14	デュアルドリーム	110	0.92%	0.22%
15	プレミアカレンシー・プラス	93	0.75%	1.13%
16	モンターニュ2	77	0.38%	2.16%
17	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	66	1.14%	0.81%
18	アテナ	56	0.21%	2.81%
19	アポロ	27	0.36%	2.16%
20	ロングドリーム	26	0.33%	0.29%
加重平均		10,864	0.87%	0.77%

※2023年3月末の時点で保険契約開始から60ヵ月以上が経過し、契約が存続している外貨建一時払保険20銘柄を対象として算出

※外貨建平準払保険や医療保障・介護保障・特定疾病保障等の生前給付の保障が組み込まれている銘柄は、対象外とする

※コスト算出にあたり、個別契約ごとに適用される手数料率を特定することが困難なため、各銘柄ごとに保険会社が算出して提供する新契約手数料率及び継続手数料率の平均値を一律に適用して算出

※各契約のリターン率については、(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率に換算し、各契約のリターン率を各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均して算出(全て円換算ベース)

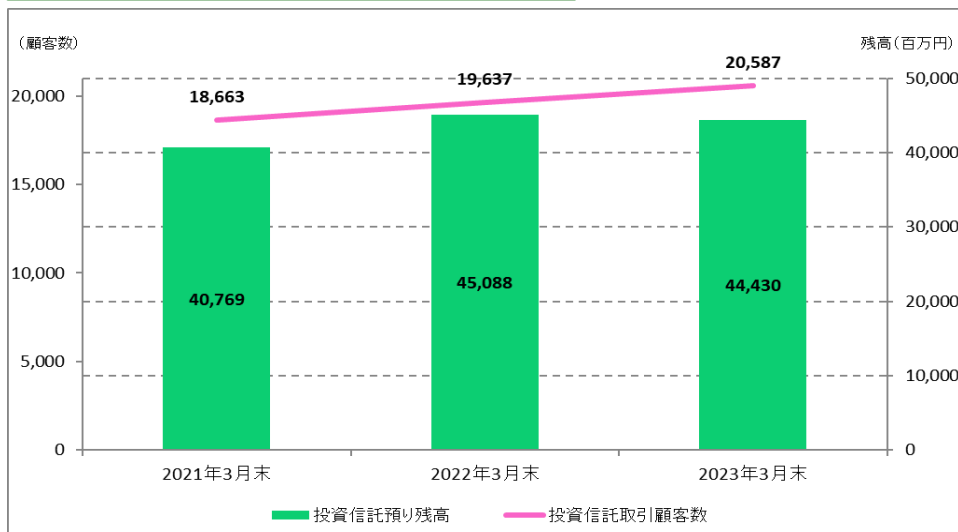
※上記数値等はあくまでも過去の実績であり、将来のコスト・リターンをお約束するものではありません

2. お客様に対する情報提供およびコンサルティングの実施

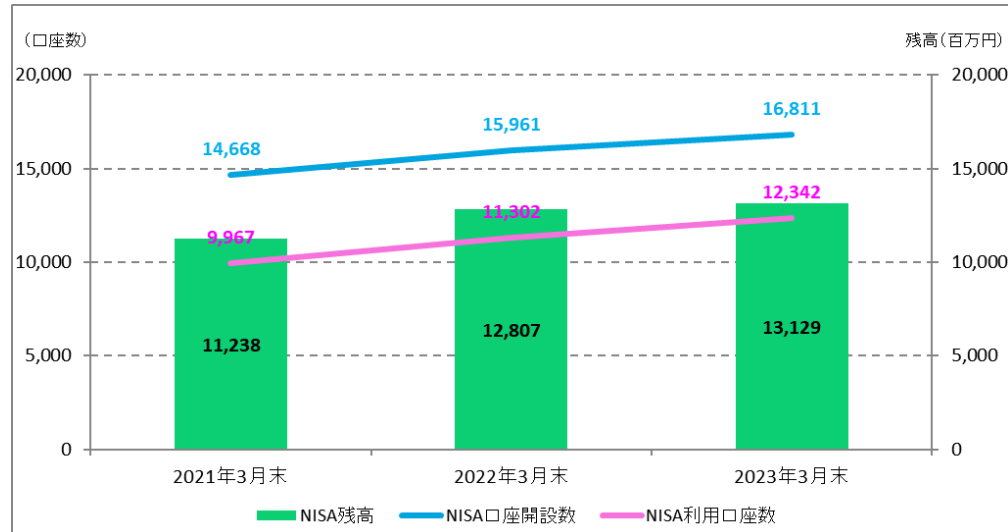
(1) 投資信託ならびにNISAのご提案状況(2023年3月末時点)

投資信託の取引顧客数は20,587先(前年比+950先)、預り資産残高は44,430百万円(前年比-658百万円)となりました。投信積立契約数は、15,272件(前年比+2,240件)、“つみたてNISA”の口座数は、5,191口座(前年比+1,227口座)となりました。“つみたてNISA”を含む投信積立の2023年3月の月間買付額は、217,438千円(前年比+34,116千円)となりました。NISA口座の利用口座数は12,342口座(前年比+1,040口座)、預り資産残高は、13,129百万円(前年比+322百万円)となりました。2022年4月～2023年3月の間における投資信託販売上位10銘柄は、下記の通りです。

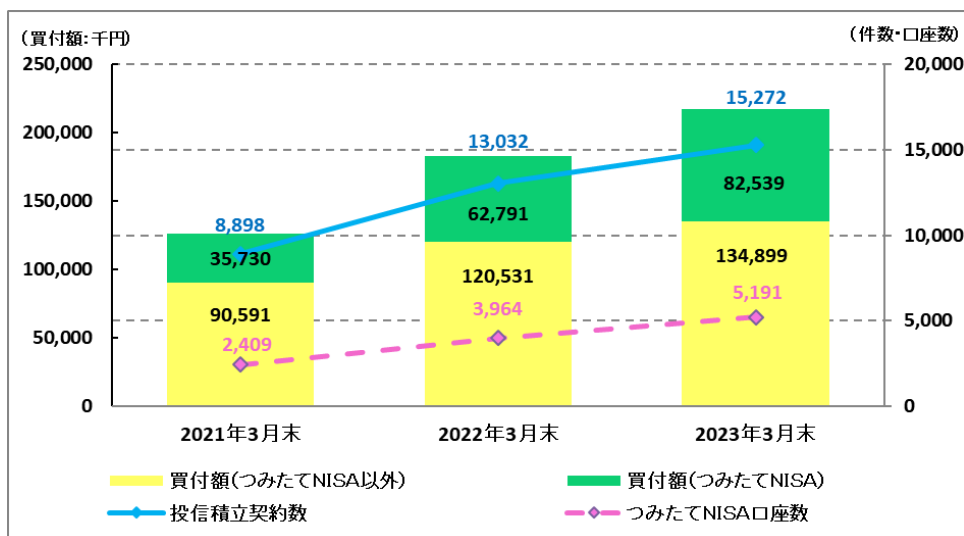
投資信託取引顧客数・預り残高の推移



NISA残高・口座数・利用口座数



投信積立口座数・月間買付額



投資信託販売額上位10銘柄(2022年4月～2023年3月)

(販売額単位:百万円)

No.	商品名	運用会社(略称)	投資対象分類	毎月分配型	販売件数	販売額	割合
1	しんきんインデックスファンド225	しんきんAM	国内株式		3,743	2,832	28.4%
2	しんきんリートオープン(毎月決算型)	しんきんAM	国内不動産	○	5,039	1,389	13.9%
3	あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2022-04	あおぞら	バランス		785	1,379	13.8%
4	ロボット・テクノロジー関連株ファンド—ロボテック—	大和	国内外株式		22,738	1,161	11.6%
5	あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2022-10	あおぞら	バランス		524	904	9.1%
6	インデックスファンド225	日興	国内株式		4,597	524	5.2%
7	SMTAMダウ・ジョーンズ インデックスファンド	三井住友TAM	海外株式		6,220	520	5.2%
8	グローバル水素株式ファンド	日興	国内外株式		4,926	491	4.9%
9	たわらノーロード 先進国株式	AM-ONE	海外株式		28,805	426	4.3%
10	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	AM-ONE	国内外株式		5,444	360	3.6%
投資信託全商品の合計					82,821	9,986	100.0%

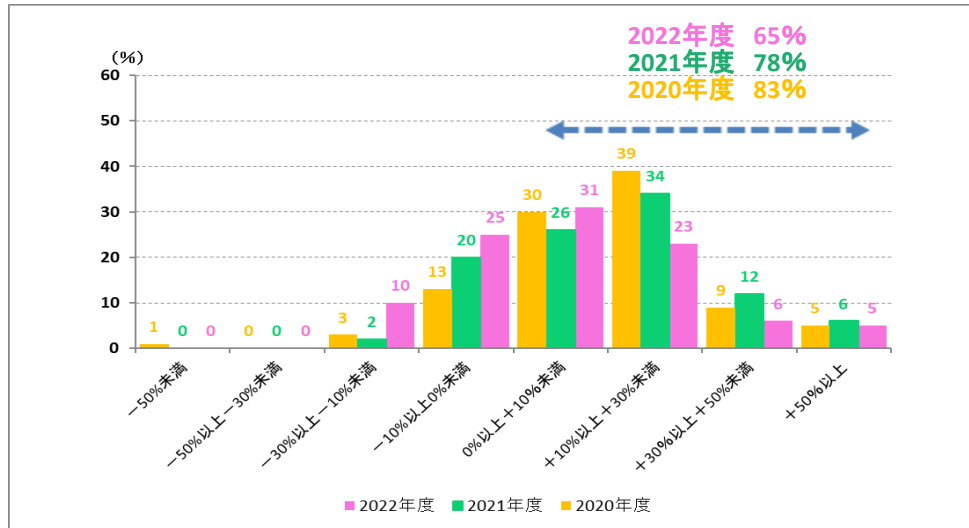
(2) 投資信託・外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率(共通KPI)・運用損益別顧客比率

2023年3月末時点で運用評価額(保有ベース)がプラスのお客さまの比率は、投資信託が65%(前年比-13%)、外貨建一時払保険が32%(前年比-25%)となりました。

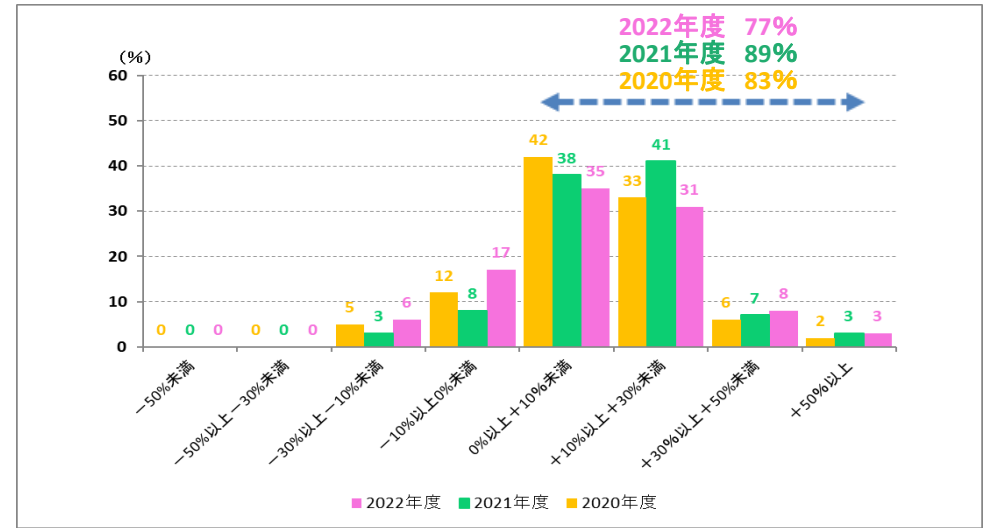
また、2022年4月~2023年3月の間における運用損益(解約ベース)がプラスのお客さまの比率は、投資信託が77%(前年比-12%)、外貨建一時払保険が96%(前年比+1%)となりました。

今後も引き続き、お客さまの資産形成のお役にたてる提案に努めてまいります。

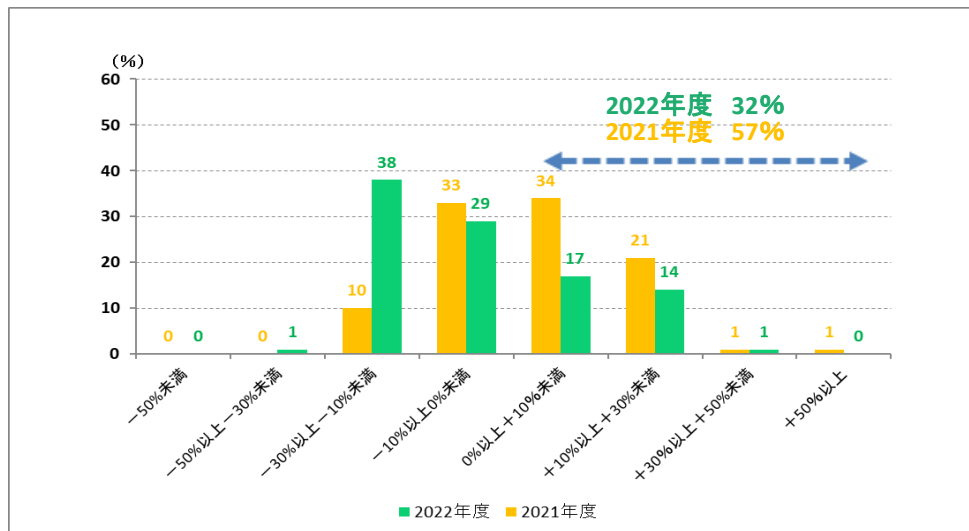
運用評価別顧客比率(投資信託保有ベース) ※共通KPI



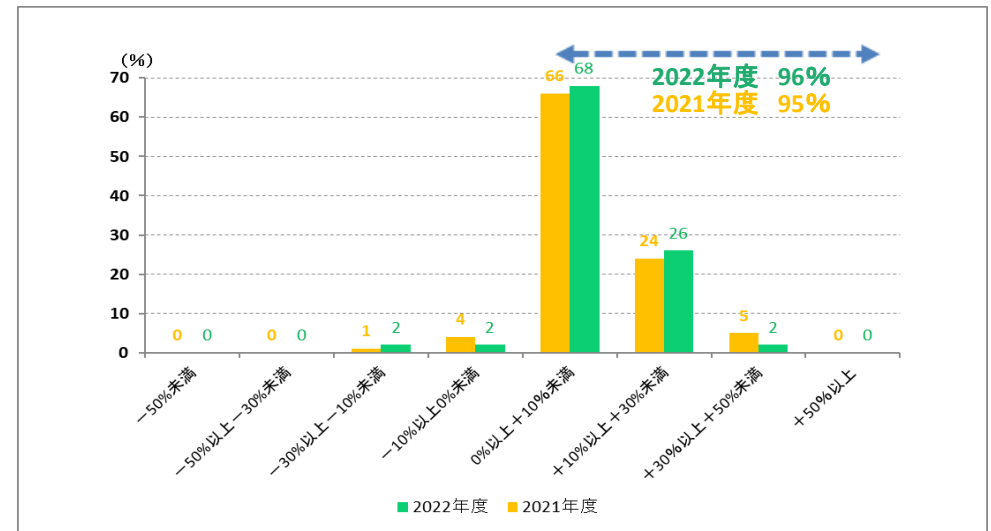
運用損益別顧客比率(投資信託2022年4月~2023年3月解約ベース)



運用評価別顧客比率(外貨建一時払保険保有ベース) ※共通KPI



運用損益別顧客比率(外貨建一時払保険2023年4月~2022年3月解約ベース)



(3) 顧客セミナー・アフターフォローの取組み状況

2020年度以降、新型コロナウイルス感染防止の観点より、当金庫が主催する対面での資産運用セミナーの開催は見合わせております。オンラインでの資産運用セミナーは、2022年度は8回開催し、延べ275名のお客さまにご参加いただきました。2022年度における投資信託保有者へのアフターフォロー実施状況は、実施先数が23,525先（前年比+3,609先）、実施回数が110,100回（前年比-11,223回）でした。

資産運用顧客セミナーの実施状況

資産運用顧客セミナー	2020年度	2021年度	2022年度
開催回数	1回	6回	8回
参加者数	30名	274名	275名

※ 当金庫ホームページ上から投資信託運用会社のマーケット解説動画を閲覧できる「WEBマーケットセミナー」には、2,001件のアクセスがありました。

投資信託保有者へのアフターフォロー実施状況

アフターフォロー実施状況	2020年度		2021年度		2022年度		
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	
アフターフォロー実施先数	19,222	—	19,916	—	23,525	—	
アフターフォロー実施回数	112,256	100.0%	121,323	100.0%	110,100	100.0%	
実施方法	電話連絡	76,627	68.3%	70,314	58.0%	66,492	60.4%
	訪問	3,266	2.9%	3,143	2.6%	2,880	2.6%
	来店誘致	13,413	11.9%	13,225	10.9%	12,196	11.1%
	ダイレクトメール発送	18,950	16.9%	34,641	28.6%	28,532	25.9%

3. お客様本位の営業活動に向けた態勢整備

(1) 販売担当者の資質向上への取組み状況

2023年3月末時点における当金庫職員のFP資格取得者数（CFP、AFP含む）は、合計で733人です。
当金庫は、所定の研修課程を修了した預り資産担当者を投資信託取扱店に配属しています。
2023年3月末時点における預り資産担当者は80人で、平均業務経験年数は5.7年、配属状況は下記の通りです。
預り資産担当者には、市場動向やコンサルティングなどに関する研修を継続的に実施し、資質向上に取り組んでいます

FP資格取得者数

	FP1級	FP2級	FP3級	合計
資格取得者数	36人	427人	270人	733人

預り資産担当者と人数

預り資産担当者の名称	担当職務	人数
MP(マネープランナー)	ローカウンターで相談業務を担当する預り資産専担者	40人
MA(マネーアドバイザー)	ハイカウンターでの窓口業務とローカウンターでの相談業務を担当する預り資産担当者	40人
預り資産担当者合計		80人

投資信託取扱店における預り資産担当者配属状況

	MP・MA配属	MP配属	MA配属	MP・MA配属なし	合計
店舗数	10店舗	30店舗	30店舗	2店舗	72店舗

※ 預り資産担当者が配属されていない店舗にも証券外務員有資格者は在籍しています。

(2)お客さま本位の営業活動の定着と実践に向けたその他の取組みについて

当金庫は、お客さま本位の営業活動の定着と実践を促すため、下記の取組みを行っています。

①「しんきん預り資産ナビ」の活用

当金庫は、資産運用提案時に信用金庫業界の共同システムである「しんきん預り資産ナビ」を活用しています。

「しんきん預り資産ナビ」は、お客さまの意向に沿った最適な商品を選択・提案する機能、申込書類をシステム作成する機能、販売担当者の提案や説明が適正だったかどうかモニタリングできる機能、などを備えています。

従来の投資信託に加えて、生命保険も「しんきん預り資産ナビ」で提案できるよう、申込手続のペーパーレス化を含めて機能追加を進めています。新機能は、2023年度より稼働する予定です。

②「重要情報シート」の導入

当金庫は、資産運用提案時に金融商品・サービスの販売・推奨などに係る重要な情報をお客さまに分かりやすくお伝えするため、「重要情報シート」を導入しました。「重要情報シート」は、現在は、店頭で投資信託を販売する際に使用しておりますが、今後は他の金融商品販売にも拡充する方針です。

③お客さまの課題解決に向けた取組み

当金庫は、金融サービスを通じてお客さまの課題を解決する営業活動を業績評価に反映させています。

また、課題解決を通じてお客さまに喜んでいただいた事例を庫内で報告・発表する機会を設けており、役職員間で共有することで、お客さま本位の営業活動の定着に努めています。

【参考】「お客さまの資産形成および資産運用サポートに関する取組み状況」の「顧客本位の業務運営に関する原則(金融庁公表)」への対応状況

金融庁公表「顧客本位の業務運営に関する原則」への対比表

1. お客さまの多様なニーズにお応えする商品およびサービスの提供	原則(金融庁公表)
(1) 投資信託・生命保険取扱商品	2、3、6
(2) 投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン(共通KPI)	2、4、6
(3) 投資信託預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン(共通KPI)	2、6
(4) 投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン	2、4、6
(5) 外貨建一時払保険預り資産残高保有銘柄(契約開始後60ヵ月以上)のコスト・リターン(共通KPI)	2、4、6
2. お客さまに対する情報提供およびコンサルティングの実施	原則(金融庁公表)
(1) 投資信託ならびにNISAのご提案状況(2023年3月末現在)	2、6
(2) 投資信託・外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率(共通KPI)・運用損益別顧客比率	2、6
(3) 顧客セミナー・アフターフォローの取組み状況	6
3. お客さま本位の営業活動に向けた態勢整備	原則(金融庁公表)
(1) 販売担当者の資質向上への取組み状況	2、5、6、7
(2) お客さま本位の営業活動の定着と実践に向けたその他の取組みについて	—
①「しんきん預り資産ナビ」の活用	2、3、4、5、6、7
②「重要情報シート」の導入	4、5、6、7
③お客さまの課題解決に向けた取組み	2、6、7

金融庁公表「顧客本位の業務運営に関する原則」

原則1	顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等	原則5	重要な情報の分かりやすい提供
原則2	顧客の最善の利益の追求	原則6	顧客にふさわしいサービスの提供
原則3	利益相反の適切な管理	原則7	従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
原則4	手数料等の明確化		